

## 2020 年 11 月 18 日「不來子先生」ご公演

### Seeing Blyth-Sensei on November 18, 2020

熊谷 えり子  
KUMAGAI Eriko

---

素晴らしいご公演でした。感動と共に、心身が深く癒されたようで、驚きました！

コロナ禍の中の振り替え公演という、まことに苛酷な状況の中で、しかも当日の東京のコロナ感染者数はハネ上がっておりました。このような世界の先が見えない中でのご公演、どんなに大変であったか、拝察します。しかしコロナ時代に入った今“絶望の中のみ光あり”を正に体現したご公演であったと思われました。まるで宗片先生が闇の中に灯火を持ち先頭に立っているようなイメージがいたしました。

昨年 3 月 24 日の初演『たたかわざる者』の時は、大変感動し、極度に興奮していたように思いますが、今回は、逆に非常にリラックスして、深く心身癒され至福の時でした。素晴らしい舞台上、会場全体が舞台と本当に一つになっていたように感じました。

2 度目なので、落ちついて鑑賞することが出来、どんな小さな一つ一つの言葉、所作、謡、舞、お囃子もすばらしく、それが一つになって、私を包みこんで別世界につれていってくれました。作能され演じられた津村禮次郎さんは、大変お力のある方なのだと感じ入りました。

そして今回は特別出演の中村明一さんの尺八がすばらしく、堪能いたしました。最初のひと吹きで身震いしました。何というか音の中に宇宙大の生命がこもっているというような。

とにかく「不來子先生」「梟山伏」「羽衣 和合之舞」というプログラムがまた良かったです。すべてが調和しひびき合い、顕幽両界一体となった世界でした。みえる世界とみえない世界が一つになったのが真実の世界だと私は思います。狂言「梟山伏」素朴な笑いでそれをおしえてくれて楽しかったです。

「不來子先生」は宗片先生でなければ決して創り得ない作品です。平和をつくる力のある作品であると信じます。世界平和の為にこのかけがえのない作品がくり返し再演されることを切に願います。私は東慶寺のブライス先生のお墓に行きお祈りしようと思います。「ブライス先生、どうか宗片先生の作品『不來子先生』の中で、平和を、人類の歴史から戦争がなくなるまで、語りつづけて下さい。」

不戦非武装の日本の平和憲法を日本人が生き、世界人類が生きるようになるまで、顕幽の境をこえて――

(山波言太郎総合文化財団 代表理事)